



WELHOME ZD-17N

Conical Burr Coffee Grinder

Instruction Manual



コーヒー豆容器 450 g

コーヒー豆容器を簡単に取り外せるように、クロージャーアームが装備されています。クロージャーアームを閉めることにより豆容器を取り外した状態で、コーヒー豆を容器に入れることができます。

挽き粗さ調整カラー

使いやすいうように大きく作られたカラーにより、30段階の挽き粗さ設定が可能です。エスプレッソのために細かくコーヒー豆を挽くことや、フレンチプレスに合う粗い挽き方を選択することも可能です。抽出方法に合う挽き粗さを設定することにより、より美味しいコーヒーを楽しむことができます。

LED照明

豆を挽く際、コーヒー粉末受け口がLED照明によって照らされます。

TAP & GO 機能

TAP & GO機能により、フィルターホルダーを所定の位置に置き軽く下に押すことで、グラインダーを操作することなくコーヒー豆を挽くことができます。

フィルターホルダー クレードル

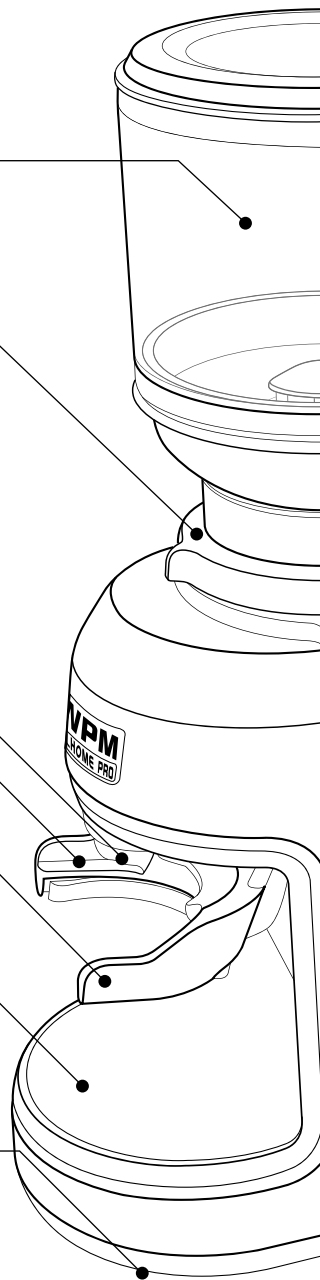
スタイリッシュで丈夫な金属製のクレードルで、58mmのフィルターホルダー用に設計されています。50mmのフィルターホルダーアタッチメントも付属しています。

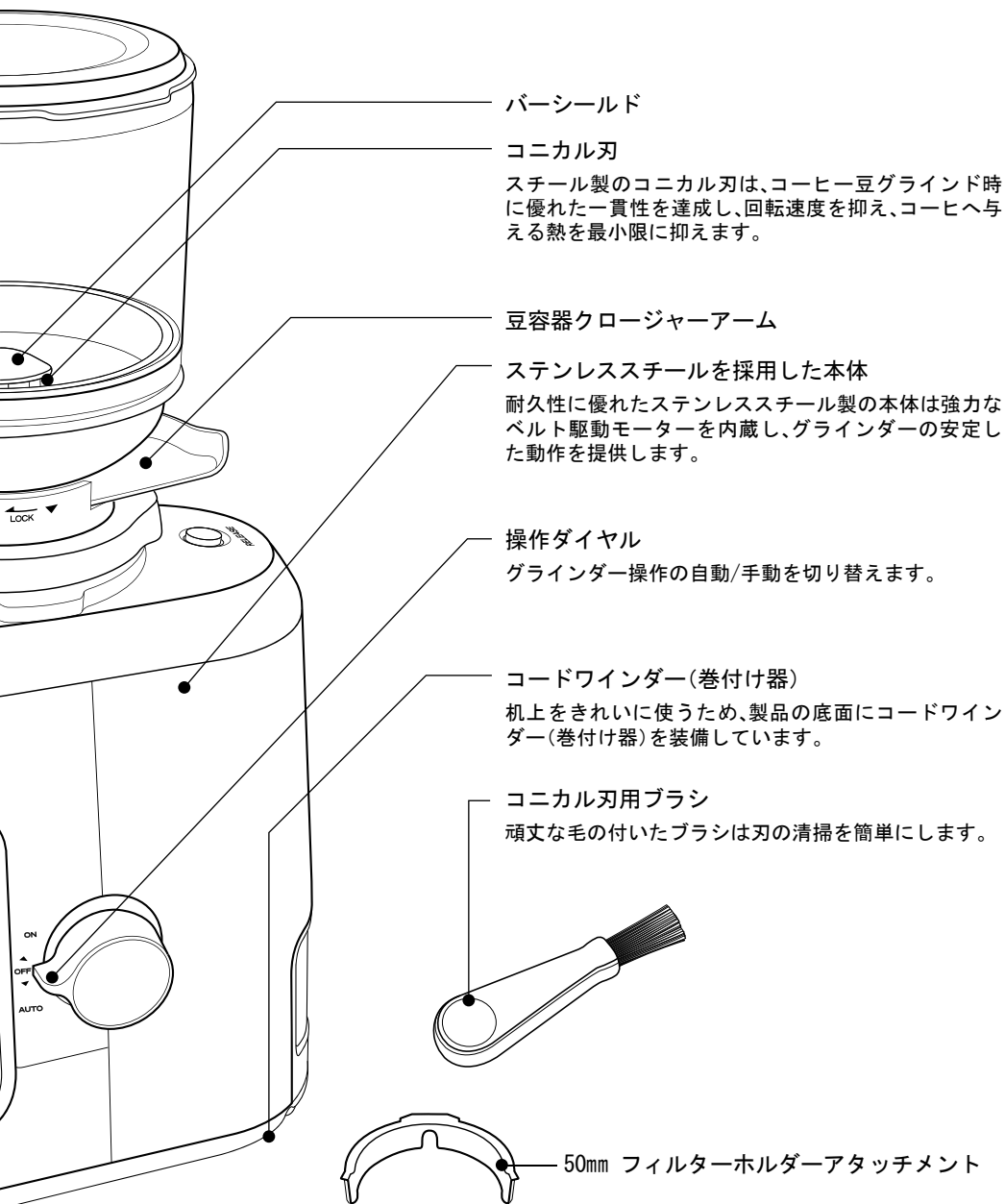
トレイと清掃用ブラシ、50mmアタッチメント保管場所

グラインド時に零れた粉を外に逃がさないように設計されたトレイは、清掃用ブラシと50mmフィルターホルダーアタッチメントの保管場所も兼ねています。

ラバーフィート

製品の底にゴム製の滑り止めを装備しており、グラインダーが安定し、使用中のベンチトップ上での滑りも防止します。





パーシールド

コニカル刃

スチール製のコニカル刃は、コーヒー豆グラインド時に優れた一貫性を達成し、回転速度を抑え、コーヒーへ与える熱を最小限に抑えます。

豆容器クロージャアーム

ステンレススチールを採用した本体

耐久性に優れたステンレススチール製の本体は強力なベルト駆動モーターを内蔵し、グラインダーの安定した動作を提供します。

操作ダイヤル

グラインダー操作の自動/手動を切り替えます。

コードワインダー(巻付け器)

机をきれいに使うため、製品の底面にコードワインダー(巻付け器)を装備しています。

コニカル刃用ブラシ

頑丈な毛の付いたブラシは刃の清掃を簡単にします。

50mm フィルターホルダーアタッチメント

安全上の注意

コーヒーグラインダーに関する安全上の注意

- ・ 使用する前に豆容器内に異物がないことを確認してください。
- ・ グラインダーに豆容器が正しくセットされた状態で、使用してください。
- ・ グラインダー作動時に、刃に手を近づけないでください。
- ・ グラインダーは平らで水平な場所に設置してください。
- ・ クリーニングは電源を切り、電源コードを抜いてから行ってください。
- ・ 挽いたコーヒーをグラインドしないでください。
- ・ グラインダー使用中に稼働している部品には触らないでください。電源を切ってから触って下さい。

本製品は安全を考慮し設計、製造を行っておりますが、誤った操作を行うと、マシンの破損、人身傷害の恐れがあります。以下の安全に関する措置を確認し、指示に従ってください。

- ・ 取扱説明書をよく読み、その指示に従ってください。
- ・ 電源コードの抜き差しは、先にコンセント側のプラグを抜いてください。抜く時にはプラグを掴み、コードは引張らないでください。
- ・ グラインダー未使用時やクリーニングの前には、電源をオフにしてプラグを取り外してください。
- ・ 資格のある技術者、サービスマンの確認がない限り、延長コードは利用しないでください。
- ・ グラインダーに記載されている電圧のコンセントを使用してください。
- ・ グラインダーの操作、危険性に精通した大人が監督していない限り、子供、身体的、精神的に能力が低下した方は使用しないでください。
- ・ 子供がグラインダーで遊ばないように監督してください。
- ・ グラインダーが稼働している場合、本体表面が高温になる場合がありますので注意してください。
- ・ 使用中はグラインダーのそばから離れないでください。
- ・ 使用目的以外の目的で、グラインダーを使用しないでください。
- ・ 高温になるガスコンロや電気機器、オープン等の上、または近くにグラインダーを置かないでください。
- ・ 他の機器の上に置かないでください。
- ・ 電源コードをテーブルやカウンターの端にかけたり、高温になる個所に触れないようにしてください。
- ・ 損傷した電源コード、グラインダーは使用しないでください。損傷が疑われる場合は、フジ産業(株)三郷センターまでご連絡ください。
- ・ 追加保護のため、漏電遮断器(トリップ電流が30mAを超えないもの)を使用することを推奨します。
- ・ グラインダーや電源コードを、水または他の液体に浸さないでください。
- ・ グラインダーは、外部タイマーや別個のリモートコントロールシステムを使用して操作することはできません。
- ・ グラインダーは家庭及び、店舗、オフィスやスタッフキッチン、農家、ホテルなどの宿泊施設での使用を目的にしています。
- ・ 2回以上連続でグラインドした場合、グラインダーが室温と同程度の温度になるように冷却して下さい。

WELHOME WPM

グラインダーの機能

TAP & GO機能

「TAP & GO機能」により、ワンタッチでフィルターに直接グラインドすることが可能です。操作ダイヤルを「AUTO」に設定し、フィルターホルダーをクレードルにセットし下に軽く押し下してください。グラインダーがコーヒー豆を挽き始めます。



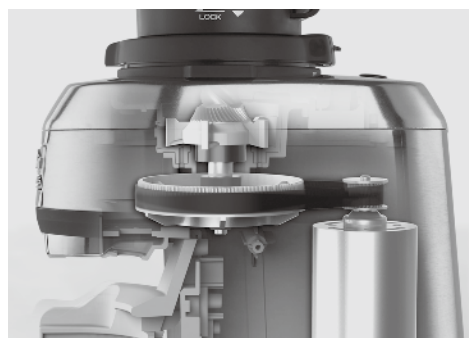
コーヒー豆の挽粗さ調整

正確な調整が可能な挽き粗さ設定は、様々なコーヒースタイルと抽出率に適した豆の挽き粗さを実現する柔軟性を提供します。独特のグラインドカートリッジと簡単な構成システムにより、継続的な精度を保証します。



低速グラインド

パワフルで静かなベルト駆動システムと強化されたコニカル刃のコンビネーションは、低速のグラインドプロセスを実現します。これによりコーヒーへの熱伝達が最小限に抑えられ、アロマを保護します。



グランドエリアLED照明

グランド時、LED照明によってコーヒー粉末受け口が照らされます。豆が挽き終わると照明が落とされます。



分解せずに簡単に清掃が可能

グランドカートリッジは、挽き粗さの設定を変更することなく下刃部を清掃することが可能です。



WELHOME WPM

グラインダーの操作方法

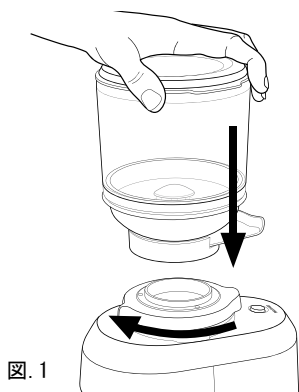
コーヒーグラインダーを使用する前に、本体外側を湿った布で拭き、温めの石鹼水で豆容器と豆容器フタを洗ってください。その後、よくすすいで完全に乾燥させます。

注意: グラインドカートリッジを、水または他の液体に浸さないでください。

注意: グラインダーおよびその部品の洗浄に食器洗い機は使用しないでください。

1. グラインダーが乾燥したら、平らな場所に置きます。
2. 豆容器を取り付けるには、容器の▼をグラインドカートリッジ上部の▲に合わせ、時計回りに回してロックします。(図. 1参照)

豆容器が定位置にセットされていない場合、グラインダーは作動しません。



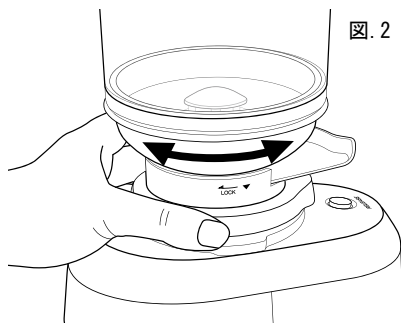
3. 豆容器をコーヒー豆で満たしてください。

メモ: グラインダーの刃に均一な重量がかかるように、豆容器内の豆を少なくとも半分以上に保つことをお勧めします。これにより、より一貫したグラインドが可能です。

注意: グラインダーおよびその部品の洗浄に食器洗い機は使用しないでください。

4. 豆容器のフタを閉め、クロージャーアームを開きます。

5. 操作ダイヤルが「OFF」になっていることを確認し、電源コードを100Vのコンセントに差し込み、電源を入れてください。



6. 挽き粗さ調整カラーを目的の設定に合わせます。(図. 2参照)

希望の抽出方法に適した挽き粗さを選択するには、9ページの「コーヒー豆挽き粗さ設定表」を参照してください。

フィルターホルダーにグラインドする場合

7. フィルターホルダーをクレードルに斜めに挿入します。ホルダーのグリップが正面より左斜めの位置に来ようセットし、手を離してもフィルターホルダーが落ちない事を確認してください。(図. 3参照)

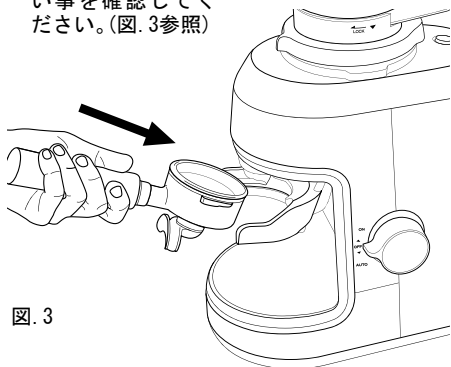


図. 3

注意: クレードルは、58mmフィルターホルダーをセットするサイズになっています。50mmのフィルターホルダーをセットするには、トレイ内の保管場所にある50mmフィルターホルダーアタッチメントを取り付けてください。

8. 操作ダイヤルを「AUTO」の位置にあわせ、フィルターホルダーのグリップを静かに押し下げると、グラインダーがコーヒー豆を挽き始め、フィルターにコーヒー粉末が落ちます。(図. 4参照)

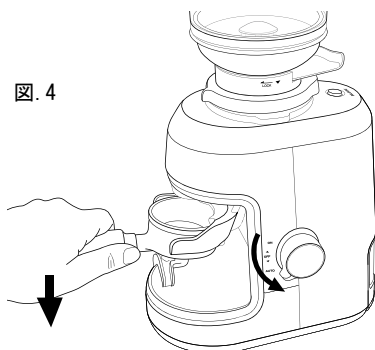


図. 4

注意: 操作ダイヤルを「AUTO」に設定すると、コーヒー豆を挽かずにフィルターホルダーをクレードルに置いておくことができます。

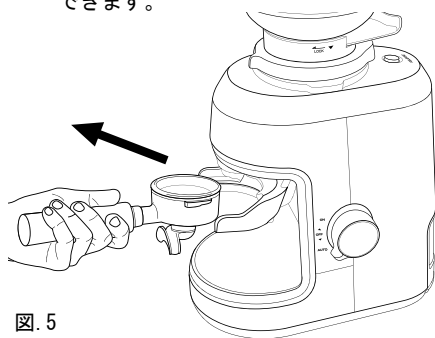


図. 5

9. フィルターがいっぱいになったら、クレードルからフィルターホルダーを取り外します。(図. 5参照) フィルター内のコーヒー粉末をタンパーで静かに押し込んでください。(図. 6参照) 希望の量にコーヒー粉末が達するまで同じ作業を繰り返してください。

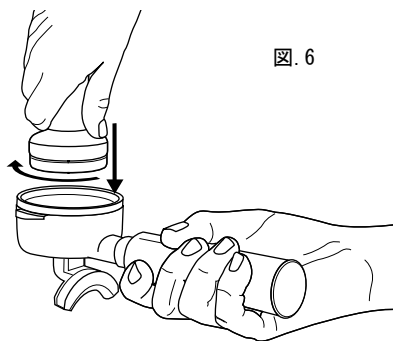


図. 6

ハンズフリーグランド

10. フィルターホルダーをクレードルに斜めに挿入します。ホルダーのグリップが正面より左斜めの位置に来るようセットし、手を離してもフィルターホルダーが落ちない事を確認してください。(図. 3参照)
11. 操作ダイヤルを「ON」の位置にあわせると、グラインダーは連続的にコーヒー豆を挽き始めます。(図. 7参照)

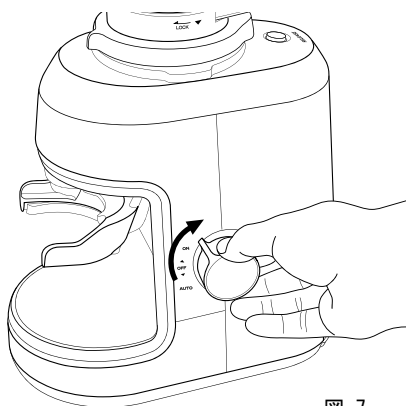


図. 7

12. コーヒー粉末が希望の量に達したら、操作ダイヤルを「OFF」の位置に戻しグラインダーを止めます。

注意: 200g以上の連続運転(グランド)はしないでください。

コーヒー豆の挽き粗さ調整

コーヒー豆挽き粗さ設定表

設定値	抽出メニュー
0 - 7	トルコ式コーヒー
7 - 15	エスプレッソ
7 - 15	モカ・ポット（直火式エスプレッソ）
10 - 20	サイフォン
15 - 30	エアプレス、ドリップコーヒー、V60
25 - 30	フレンチプレス、ケメックス、コーヒードリッパー

30段階のコーヒー豆挽き粗さ設定が可能です。使用するコーヒーマシン、抽出方法に合わせて挽き粗さを設定してください。

- ・挽き粗さが細かいほど、コーヒー豆を挽く時間が長くなります。
- ・細かい挽き粗さでグラインダーを長時間使用した後は不具合を避けるために、グラインドカートリッジを取り外し、清掃を行うことを推奨します。詳しくは「ケアとクリーニング(P12)」をご参照ください。

メモ

1. 使用する抽出方法に適した挽き粗さを選択してください。精密な調整を行うために、30段階の調整が可能です。
数字が「0」に近いほど細かい挽き粗さを提供し、「30」に近くなる度に粗くなります。
理想の挽き粗さを実現するためには、挽き粗さの設定を何度も試すことが重要です。
2. コーヒー豆挽き粗さ設定表を参照し、挽き粗さを調整してください。抽出メニューより挽き粗さを細かく設定すると苦味が強くなり、逆に粗くするとコーヒーは薄く味が悪くなります。
3. コーヒー豆は挽かれると急速に風味とアロマが失われていきます。美味しいコーヒーを抽出するには、抽出直前に豆を挽くことをお勧めします。

4. コーヒー豆は新鮮なものを使用してください。
5. コーヒー豆は鮮度を保持するために、日の当たらない乾燥した涼しい場所に、密閉できる容器に入れて保管してください。
グラインダーのコーヒー豆容器に長時間保管することはお勧めしません。
6. コーヒー豆容器とコニカル刃は定期的に清掃してください。

ケアとクリーニング

重要事項:

- ・ コニカル刃の点や跡は、硬化プロセスの一部です。グラインダーの性能やコーヒーの味に影響はありません。
- ・ クリーニングの前に、コーヒーグラインダーの電源が切れていること、電源コンセントからプラグが抜かれていることを確認してください。
- ・ コーヒーグラインダー本体を水に浸さないでください。
- ・ グラインドカートリッジを水、または他の液体に浸さないでください
- ・ 食器洗い機でコーヒーグラインダーの部品を洗浄しないでください。
- ・ 研磨剤や研磨パッドを使用しないでください。

グラインダー本体とコーヒー豆容器のクリーニング

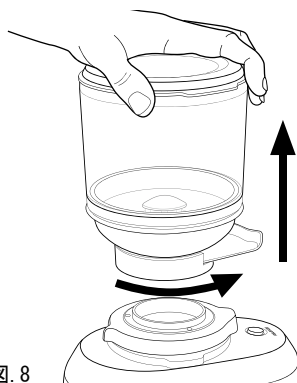


図. 8

1. 豆容器クロージャーアームを閉じ、本体から豆容器を取り外します。(図. 8参照)
容器内の豆は気密容器に入れ鮮度が落ちないように保管します。
2. 本体の外側を湿った布で拭き乾かします。
3. 温かい石鹼水で豆容器を洗い、すすいだ後乾燥させます。

刃のクリーニング

コーヒーグラインダーを頻繁(毎日)に使用する場合、その性能を最大限に発揮させるため、3週間毎に刃を清掃する必要があります。定期的な清掃は、刃が一貫した挽き粗さを達成する事を助け、特にエスプレッソ用のコーヒー豆を美味しく挽くことができます。

1. 豆容器クロージャーアームを閉じて、グラインダーがコーヒー粉を出さなくなるまで、コーヒー豆を挽きます。
2. 操作ダイヤルを「OFF」の位置にあわせ、コンセントからプラグを抜いた後、コーヒー豆容器を本体から取り外してください。(図. 8参照)
3. グラインドカートリッジを取り外してください。取り外すには、本体上部にある「RELEASE」ボタンを押したまま、カートリッジのグリップタブを反時計回りに回してください。(図. 9参照)

メモ: カートリッジグリップタブを使用する事で、挽き粗き設定を変更せずにグラインドカートリッジを取り外す事が出来ます。

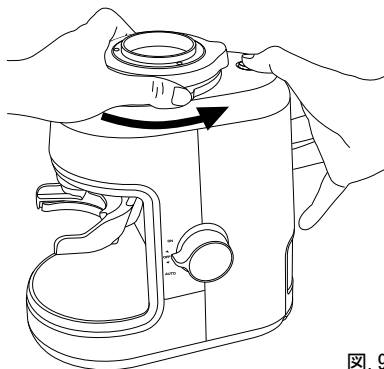


図. 9

5. グラインドカートリッジをグラインダー本体から持ち上げて取り外します。(図. 10参照)

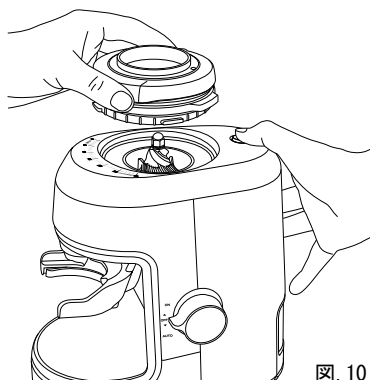


図. 10

6. コニカル刃用ブラシ(トレイ下の専用保管場所にあります)を使用して、グラインドカートリッジ(上部刃)と下部刃を清掃してください。(図. 11参照)

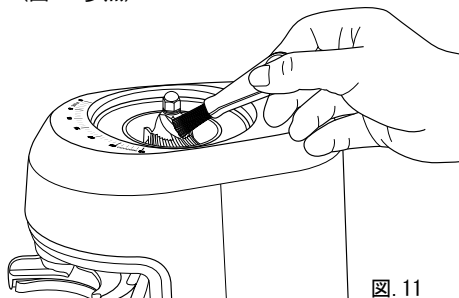


図. 11

7. 上下の刃がきれいになったら、グラインドカートリッジを本体に戻し、カートリッジ側面の矢印が本体「ALIGN」の矢印と合うようにします。挽き粗さ調整カラーの矢印が「LOCK」の矢印に合うまで時計回りに回し、「RELEASE」ボタンを押してください。

コーヒー豆の挽き粗さ設定の再調整

注意:再調整を行うことで、グラインダーの以前の設定はすべて変更されます。

1. 豆容器クロージャーアームを閉じます。
2. グラインダー内に残った豆を挽き、豆が内部に残らないようにします。
3. 操作ダイヤルを「OFF」の位置にします。
4. 電源ソケットからプラグを抜きます。
5. コーヒー豆容器を反時計回りに回し取り外します。

■ コーヒー豆の挽き粗さをより粗くするための再調整

6. 現在の挽き粗さ設定の位置をメモしてください。
7. 挽き粗さ調整カラーを挽き粗さ設定の位置を「15」に合わせます。(図. 12参照)
8. 再調整解除レバーを上げ、挽き粗さ調整カラーを取り外します。(図. 13, 14参照)
9. 挽き粗さを粗くするには、挽き粗さ調整カラーを「10」に合せます。
10. グラインド調整カラーのフロントとリア部を、「カチッ」と音が鳴るまで押し、取付けてください。
11. 挽き粗さ設定をメモしておいた設定位置に戻してください。再校正を行う前より挽き粗さが粗くなります。
12. コーヒー豆容器を取り付け、クロージャーアームを開き、グラインダーの電源を入れます。

注意:再調整後に挽いたコーヒー粉末を使用する前に必要な挽き粗さであるか確認を行ってください。

■ コーヒー豆の挽き粗さをより細くするための再調整

- 注意:グラインダーは、各抽出方法に合う挽き粗さを工場で設定しています。「0」設定で希望の挽き粗さに出来ない場合のみ、より細くするための再調整を行ってください。
6. 挽き粗さ調整カラーの設定を「15」に合わせます。(図. 12を参照)
 7. 再調整解除レバーを上げ、挽き粗さ調整カラーを取り外します。(図. 13, 14参照)
 8. 挽き粗さを細くするには、挽き粗さ調整カラーを「17」に合せます。
 9. グラインド調整カラーのフロントとリア部を、「カチッ」と音が鳴るまで押し、取付けてください。
 10. コーヒー豆容器を取り付けてください。グラインダーを作動させ、動作の確認を行ってください。

注意:挽き粗さを細かく再調整しすぎると、グラインダーの刃がぶつかり合い金属摩耗音が発生することがあります。金属摩耗音が発生した場合、グラインダーの電源を切り、挽き粗さを粗く設定(30に近づける)するか、より粗くするための再調整を行ってください。

11. 豆容器クロージャーアームを開き、挽き粗さ調整カラーで挽き粗さを設定してください。

注意:さらに調整が必要な場合があります。

图 12

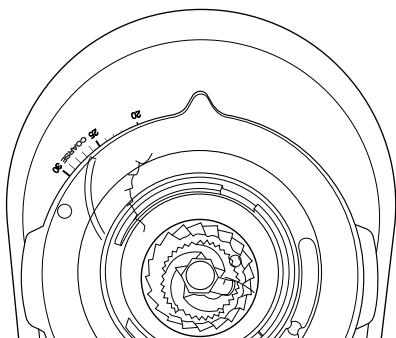


图 13

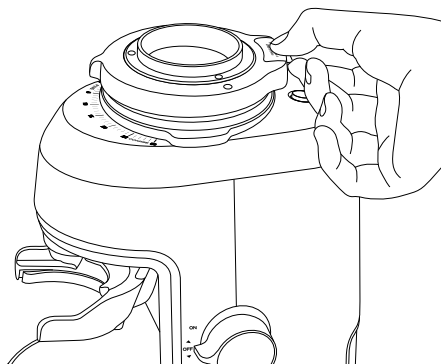
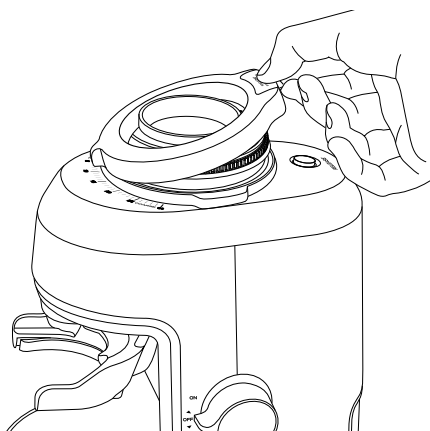


图 14




製品仕様

製品名 : コニカル刃 コーヒーグラインダー
モデルNo. : ZD-17N
電圧・消費電力 : 100V 50/60Hz・100W
外観素材 : ステンレススチール
豆容器容量 : 450g
サイズ(L×W×H) : 240×150×420mm
本体重量 : 3.3Kg

WELHOME[®]



 **フジ産業株式会社 三郷センター**

〒341-0044

埼玉県三郷市戸ヶ崎 1 丁目 105

TEL. 048-949-2888

FAX. 048-949-4141

※日曜日を除く

www.gaggia.jp